

# 令和2年度 経営発達支援計画 事業評価報告書

経営発達支援事業の実施期間

(令和2年4月1日～令和3年2月28日)

岩瀬管内商工会広域連絡協議会

- ・岩瀬商工会
- ・長沼商工会
- ・大東商工会
- ・天栄村商工会
- ・鏡石町商工会

## 【評価基準】

- A：実施され効果が見られたもの
- B：実施され効果が期待できるもの
- C：実施されたが効果が見られないもの
- D：実施されなかった、実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

実施内容と自己評価

評価委員による評価

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

●計画概要

地域小規模事業者から巡回訪問によるデータ収集を行うことで経済動向調査を実施する。  
本調査で得られたデータは岩瀬商工会 HP 内において随時公開し事業者へ周知する。

●実施内容

1. 地域経済動向調査事業

①中小企業景況調査

- (1) 実施日 第1期6月1日、第2期9月1日、第3期11月15日、第4期3月1日
- (2) 調査数 15事業所（製造業5、建設業3、小売業3、サービス業4）
- (3) 内容 管内15事業所を対象に景況感や経営課題などを職員による巡回訪問により定期的（四半期ごと）に調査し、集計データは地域経済情報として提供した。
- (4) 調査項目 売上額、前年同期との項目別景況状況、設備投資状況、経営上の問題点

●自己評価

▼中小企業景況調査の実施により管内事業所の景況を全国数値と県内数値とを比較することで経済動向分析概況を把握に努めた。管内でも新型コロナウイルスの感染拡大によって、特に飲食店、宿泊業に甚大な被害をもたらしている。製造業においても需要が停滞しており低い水準で推移している。  
引き続き調査を実施し管内の景況把握に努めたい。

【経済動向調査企業数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩瀬	8	4
長沼	10	3
大東	8	2
鏡石町	18	3
天栄村	11	3
合計	55	15

1. 地域経済動向調査事業

	A	B	C	D
評価	1	9		

(評価委員によるコメント)

▼地域の経済動向調査において、中小企業の景気の良し悪しの実感である景況感の把握を行い、地域全体の景気の流れを把握するために、有用な調査となります。

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きい飲食業、宿泊業の景況感の後退が改めて浮き彫りになりました。

▼調査数においては目標を大きく下回っておりますが、社会の経済動向を如実に示しており、調査結果に関して一定の評価はされるものと考えます。

実施内容と自己評価

評価委員による評価

**2. 経営状況の分析に関すること【指針①】**

●計画概要

「ネット de 記帳」活用による経営分析の他、金融斡旋相談や各種補助金申請の際に、巡回訪問、セミナー、個別相談会において経営分析を行い経営資源の「強み」を洗い出し経営計画策定に繋げる。

●実施内容

①「ネット de 記帳」による経営分析支援

商工会経理システム「ネット de 記帳」等の活用により、比較貸借対照表や月別売上実績表、経営分析レーダーチャートなどを基に経営の弱点を把握し、事業者にあった経営支援のアドバイスを行った。

岩瀬	長沼	大東	鏡石	天栄	合計
19社	15社	15社	35社	25社	109社

②小規模事業者経営状況分析事業

各種補助事業、創業、金融等の支援において今後の経営計画を策定するにあたり、「経営資源」「強み」「弱み」「事業機会」を洗い出し、個社の進むべき方向性と戦略課題を導きだした。

- ・国・県等補助事業計画支援における経営状況分析 64社
- ・経営力向上計画等の国制度活用における経営状況分析 10社
- ・中小企業新事業活動促進法（経営革新）における経営状況分析 21社
- ・創業および金融支援、その他における経営状況分析 8社

岩瀬	長沼	大東	鏡石	天栄	合計
23社	18社	17社	13社	32社	103社

2-(1) 経営分析講習会の開催

	A	B	C	D
評価	6	4		

2-(2) 経営分析企業数

	A	B	C	D
評価	8	2		

(評価委員によるコメント)

▼税務申告に関しては適正な税額計算が目的である一方、経営分析に関しては今後の経営への活用といった異なる目的があります。

しかしながら、両者ともに実現するためには「適正な会計の知識を持ち、適切なタイミングで記帳を行うこと」が不可欠です。

▼本年度は、コロナ禍における経済停滞への対策として、持続化補助金等においてコロナ特別枠が設置されたことで、多くの地域事業者が補助金の活用を進めてきました。

申請において適切な形で経営分析を行い、経営資源の「強み」を洗い出すことが大きなポイントとなります。

## ●自己評価

- ▼経営経営革新計画策定セミナー及び創業セミナー、経営計画作成個別相談会を通して、経営分析支援を行うことができた。
- ▼経営計画策定および各種補助事業申請の際に経営分析を実施した。専門家も活用しながらより丁寧な分析を行うことができています。分析数は目標を大幅に上回った。
- ▼今年度は特に各種補助金申請のための経営分析が昨年と比較して増加した。持続化補助金等を積極的に支援してきた成果であると考えます。

### 【経営分析講習会の開催】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩 瀬	1	0
長 沼	1	0
大 東	1	0
鏡石町	1	0
天栄村	1	0
広 域	2	2
合 計	7	2

### 【経営分析企業数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩 瀬	8	42
長 沼	10	33
大 東	8	32
鏡石町	11	48
天栄村	18	57
合 計	55	212

次年度においても小規模事業者持続化補助金やものづくり補助金、期待の高い事業再構築補助金等、様々な補助金が公募される予定となりますが、引き続きアドバイス業務の充実を図り、必要に応じて専門家を活用しながら本事業を推進して頂くことを期待します。

▼数値目標に関しては、経営分析講習会を広域で行い効率化が図られたことは評価に値します。さらに経営分析企業は目標 55 者に対し、実績 212 者と大きく上回っており、支援努力の成果が表れています。

実施内容と自己評価

評価委員による評価

**3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】**

●計画概要

経営状況分析の結果を踏まえ、抽出された自社の「強み」を徹底的に強化し磨き上げる。

- ①経営計画作成セミナー・個別相談会の開催による事業計画策定支援
- ②創業セミナーの開催

●実施内容

①経営革新計画策定セミナー

- (1) 開催日 令和2年8月26日(水)
- (2) 場 所 長沼商工会館
- (3) 受講者 16 事業所
- (4) 内 容 経営計画作成に向けての意欲向上、個別相談への誘導をはかるための集団指導
- (5) 講 師 中小企業診断士 綿貫有二 氏

②経営革新計画作成個別指導会

- (1) 開催日 令和2年9月7日(月)～12月9日(水) 実施回数47回
- (2) 場 所 相談事業所 14 社 [個別指導]
- (3) 内 容 経営革新申請における経営計画作成支援 9 社【承認】

③創業セミナー

- (1)開催日 令和2年10月14日(水)、15日(木)、21日(水)、22日(木)、28日(水)、29日(木)  
全6回
- (2)場 所 鏡石館
- (3)受講者 10 名
- (4)内 容 既存の創業塾に副業やセカンドキャリアを目指す方をターゲットに加えることで、創業を考える潜在的予備軍の掘り起こしを図った。新たにSNS活用に関するカリキュラムを加えて実施した。
- (5)講 師 中小企業診断士・税理士 鈴木龍京 氏

3－(1)

経営計画セミナー・個別相談会の開催

	A	B	C	D
評価	10			

3－(2)

経営計画策定支援企業数

	A	B	C	D
評価	9	1		

3－(3)

経営革新支援件数

	A	B	C	D
評価	6	4		

3－(4)

各種補助申請企業案件発掘数

	A	B	C	D
評価	8	1	1	

3－(5)

創業セミナーの開催

	A	B	C	D
評価	6	4		

(株)ソーシャルスピーカー 久野雅己 氏  
(株)日本政策金融公庫郡山支店融資担当者

#### ④事業継続力強化計画策定セミナー

- (1) 開催日 令和2年9月8日(火)
- (2) 場 所 大東商工会館
- (3) 受講者 12名
- (4) 内 容 防災・減災に備えるための事前計画策定の重要性について集団指導
- (5) 講 師 中小企業診断士 綿貫有二 氏

#### ⑤事業継続力強化計画策定個別指導会

- (1) 開催日 令和2年9月14日(月)・15日(火)・16日(水)・23日(水)
- (2) 場 所 相談事業所 11社 [個別指導] 【11件認定】
- (3) 内 容 事業継続力強化計画策定支援

#### ●自己評価

▼経営革新計画策定セミナーは事業者が分かり易く関心の高いテーマで継続実施した。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により4日間の予定を1日みの開催に縮小して開催した。セミナーでは経営計画の必要性を意識付けし、その後の個別支援に繋げるスキームが確立できており、多くの方が個別相談に繋がった。

▼経営計画策定個別相談会は計画策定セミナーの参加者の中から9社が経営革新計画申請に取り組み申請を行った。近年10件前後の実績をコンスタントにあげることができている。

#### ①【経営計画セミナー・個別相談会の開催】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩 瀬	1	16
長 沼	1	14
大 東	1	14
鏡石町	1	9
天栄村	1	5
広 域	9	8
合 計	14	66

#### 3-(6)

#### 創業者発掘及び創業計画策定企業件数

	A	B	C	D
評価	8	2		

(評価委員によるコメント)

▼事業計画策定支援に関して、経営革新、創業といった恒常的なテーマのみならず、近年甚大化する災害への備えとした事業継続力強化計画策定に関するセミナーを開催する等、幅広いニーズに応える形で実施されており、評価できるものと考えます。

▼セミナーにおける集客の成果を個社支援の充実に繋げられていることが、本地域商工会の強みともいえます。経営革新計画に関してはコロナ禍の中、事業者のモチベーションの維持・向上に寄与したものと思われま

す。  
▼補助金申請案件の発掘数においても、目標数を26者に対し、実績が68者と大きく上回っており、事業者の事業継続、業績向上に向けた土台作りを行えたものと評価します。

▼創業支援においては、新たな潜在的創業希望者の発掘のために平日夜間に開催されましたが、創業間近の受講

②【経営計画策定支援企業数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩 瀬	8	18
長 沼	10	17
大 東	8	25
鏡石町	11	16
天栄村	18	17
合 計	55	93

③【経営革新支援件数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩 瀬	2	4
長 沼	3	3
大 東	2	1
鏡石町	4	1
天栄村	2	0
合 計	13	9

④【各種補助申請企業案件発掘数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩 瀬	4	12
長 沼	4	11
大 東	4	13
鏡石町	8	11
天栄村	6	21
合 計	26	68

生に加え、既に事業を長く営んでいる方、サラリーマンの方、後継経営者等、幅広い参加者がおり、広報努力の成果が見られました。

・持続化補助金：44件申請（30件採択）

・ものづくり補助金：2件採択（1,310万円）

▼経営計画策定支援企業数は、補助金申請を通して支援したことで大幅に目標をクリアすることができた。

▼創業塾は昨年度から開催日を週末から平日夜間に変更して実施したことで、今年度10名の参加者を集めることができた。又、周知方法も新聞折込をやめ、フリーペーパーの「すかっと」に広告掲載を行い広く周知を行った。

新型コロナウイルス感染症対策のため、グループでのディスカッションを控えるなど、運営で難しい面があった。

▼持続化補助金申請は昨年より大幅に増加した。

⑤ 【創業セミナーの開催】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩 瀬	1	0
長 沼	1	0
大 東	1	0
鏡石町	1	6
天栄村	1	0
合 計	5	6

⑥ 【創業者発掘及び創業計画策定企業件数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩 瀬	2	3
長 沼	2	3
大 東	2	0
鏡石町	3	3
天栄村	2	2
合 計	11	11

実施内容と自己評価

評価委員による評価

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

●計画概要

広域巡回等を活用し、複数の指導員でチームを編成し客観性を持ちながら、4半期に1回以上の頻度で事業計画策定後のPDCAサイクルの進捗度のチェックを行う。また、小規模事業者の磨き上げた「強み」を伝える技術向上を行うため、必要な助言・指導を実施し、経営者の持続的発展できるよう支援する。

●実施内容

①経営革新承認企業計画実行支援事業

(1) 計画実行個別支援（個別指導）

実施日 令和元年8月11日(火)～13日(木) 実施回数8回

場 所 相談事業所 8社 [個別指導]

内 容 経営革新計画でにより立案した行動計画の確認、それを実行するための課題を抽出し実行に向けたアドバイスを行った。専門家の支援だけでなく各職員は日々の巡回訪問を通して伴走支援を行った。

②創業支援のフォローアップ

創業者については、各支援分野においてきめ細かな計画策定の支援を行いながら開業及び開業後の安定経営に向けてフォローアップを行った。また、補助金の活用等について情報提供を行った。

4- (1)

事業計画策定後のフォローアップ企業数

	A	B	C	D
評価	4	6		

4- (2)

創業支援フォローアップ企業件数

	A	B	C	D
評価	8	2		

(評価委員によるコメント)

▼経営革新計画や創業意欲を形骸化させないための、フォローアップは大変重要となります。本取組における充実したフォローアップは当地域商工会の特徴でもありますが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で個別支援に留まらざるを得なかったことは今後の課題といえます。

▼創業塾参加者に対するフォローアップに関して、内容は多岐にわたり、税務、会計等のフォローが必要となってくるケースもみられます。

より、事業者が安心して事業が営めるように、伴走型の支援を継続して頂くことを期待します。

## ●自己評価

▼これまで経営革新承認企業計画実行支援事業は専門家を交えグループ支援と個社支援を織り交ぜながら実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、グループ支援は行わず個別相談のみの実施となった。

▼フォローアップ企業数は目標未達であったが、経営革新計画承認企業に特化しフォローアップした経緯もあり、フォローアップ延件数は215件と昨年よりは若干減少したものの丁寧且つ効果的なフォローアップ支援を行うことができた。(昨年260件)

▼創業者のフォローアップでは、創業塾の参加者の他、記帳指導等を中心に日頃の巡回訪問等を通して継続した支援を行った。専門家による個別相談も実施し創業に向けた課題解決を支援した。

### 【事業計画策定後のフォローアップ企業数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩 瀬	8	13
長 沼	10	10
大 東	8	2
鏡石町	11	7
天栄村	18	5
合 計	55	37

### 【創業支援フォローアップ企業件数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩 瀬	2	3
長 沼	2	3
大 東	2	0
鏡石町	3	3
天栄村	2	2
合 計	11	11

実施内容と自己評価

評価委員による評価

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

●計画概要

将来の予測と今後の方向性に必要となる地域の経済状況と需要動向の調査・分析を広域支援体制により行う。事業計画書に迅速に反映、小規模事業者の強みである機動性を活かせるよう情報を整理・提供する。

●実施内容

経営計画策定支援を通して実施。

●自己評価

▼アンケート等は行うことができなかったが、需要動向調査は経営計画策定支援を通して、市場、商圈、消費者ニーズ等を調査し経営分析を行う形で実施し、計画策定までの一体的な支援を行うことができた。

5- (1) 経済動向・需要動向調査

	A	B	C	D
評価	9	1		

5- (2)

消費者アンケート・需要動向聴取調査

	A	B	C	D
評価	1	2		7

(評価委員によるコメント)

▼経営計画策定支援において、外部環境の調査分析を行い、地域及びターゲットの需要動向を把握することがスタートとなります。本年度は経営計画策定支援を通して、様々な外部データ等を用いて需要動向を調査してきたものと思われます。

▼今後の課題としては、外部データの収集方法について、商工会内で共有化を進めることや、ネットリサーチ等も普及している中で、消費者ニーズを把握して今後の支援に活用することがあげられます。

5- (1)

【経済動向・需要動向調査企業数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩 瀬	8	18
長 沼	10	17
大 東	8	25
鏡石町	18	16
天栄村	11	17
合 計	55	93

5- (2)

【消費者アンケート・需要動向聴取調査数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩 瀬	5	0
長 沼	5	0
大 東	5	0
鏡石町	5	0
天栄村	5	0
広 域	5	0
合 計	30	0

実施内容と自己評価

評価委員による評価

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針③】

●計画概要

小規模事業者の持つ経営資源と地域・観光資源の組み合わせにより、新商品・新生産方法・新販売方法（ITの活用）の開発を支援する。また本支援の中において地域の事業者間や農業者との連携（6次化）推進も図っていく。広域連携体制により福島県や全国商工会連合会等との連携及び施策を活用し、商談会、ビジネスマッチング等の出展支援を行い新たな需要の開拓をする。

●実施内容

①販路開拓支援

- (1) 特産品 PR 事業  
情報提供のみ実施

②ITセミナーの開催

- (1) グーグルマイビジネス活用セミナー  
開催日 令和2年11月19日(木)  
場 所 鏡石町コミュニティーセンター  
参加者 16名  
講 師 (株)ソーシャルスピーカー 代表取締役 久野雅己 氏

(2) IT活用個別相談会

- 開催日 令和2年8月17日(月)～令和3年1月29日(金) 実施回数 21回
- 場 所 各商工会及び相談事業所
- 相談者 8社(長沼3、鏡石3、天栄2)
- 内 容 ソーシャルメディアの活用について

6- (1)  
特産品開発個別指導・相談会の開催

	A	B	C	D
評価	1	1	1	7

6- (2)  
物産展等出展支援件数

	A	B	C	D
評価		2	1	7

6- (3)  
ITセミナー開催件数

	A	B	C	D
評価	2	8		

6- (4)  
ITセミナー参加企業数

	A	B	C	D
評価	5	5		

(評価委員によるコメント)

▼本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けたものであり、特産品 PR 事業である、特選品開発個別指導・相談会や物産展等出展支援事業に関して次年度は例年通り行えることを期待します。

## ●自己評価

▼商談会や物産展出店については、今年度コロナ禍ということもあり特に支援要望がなかったため、商談会等の情報提供のみを行った。今後も各事業所のニーズを把握し個別に必要な支援を行っていききたい。

▼SNS活用については、導入でつまづくケースが多かったことから、セミナーによる集団指導の他、専門家による個別相談を新たに実施し、導入から実際にSNSの投稿等、活用までを支援することができた。

▼ITセミナーは当初2回の開催を予定していたが、感染防止対策として1回のみ開催となったため目標未達だったが、専門家による個別相談や経営指導員がフォローすることで効果的な支援を行うことができた。

▼今後の需要開拓に向けて、ITツールの活用は必須であり、SNS等、活用の幅を広げることは重要と考えます。

その中で、ITセミナー、個別相談会を通し、受講事業者のITスキルのバラツキを解消する取り組みは評価できます。

### 【特産品開発個別指導・相談会の開催】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩瀬	3	0
長沼	3	0
大東	3	0
鏡石町	4	0
天栄村	3	0
合計	16	0

### 【物産展等出展支援件数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩瀬	2	0
長沼	5	0
大東	3	0
鏡石町	4	0
天栄村	6	0
合計	20	0

【ITセミナー開催件数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩瀬	1	0
長沼	1	0
大東	1	0
鏡石町	1	0
天栄村	1	0
広域	0	1
合計	5	1

【ITセミナー参加企業数】

	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
岩瀬	4	3
長沼	5	3
大東	4	0
鏡石町	6	6
天栄村	5	4
合計	24	16

実施内容と自己評価

評価委員による評価

**7. 地域経済の活性化に資する取組**

●計画概要

須賀川市・天栄村・鏡石町各行政や地域経済関連団体等との懇談を通して、岩瀬地域の活性化に関する事業提案や方向性の検討を行う。

●実施内容

①行政及び地域経済団体等との懇談会

項目	回数	内容
岩瀬管内市町村長と 商工会長等との懇談会	1回	経営発達支援計画に基づく事業の推進について首長に 要望・懇談を行った。

②原子力災害による風評被害対策の実施

項目	相談件数
原発事故に係る損害賠償請求個別相談会	0 事業所
加工食品の放射能検査事業	5 事業所 11 回

●自己評価

▼新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで実施してきた地域振興事業は中止等の対応が多くなった。今後、地域振興事業についても新たな形を検討していく必要がある。

▼市町村長等との懇談会では、経営発達支援計画に基づく事業の推進等について有意義な懇談を行うことができた。

**7. 地域経済の活性化に資する取組**

	A	B	C	D
評価	7	2		1

(評価委員によるコメント)

▼行政、地域経済団体との連携体制の構築と発展は、地域活性化実現に向けて大変重要なポイントとなります。本年度は、種々の地域振興事業は中止が多く地域経済の停滞の状況が続いています。

▼経営発達支援計画は地域振興の起爆剤として大きな期待を受けています。その実現に向けてコロナ禍の中でも実現できる新しい事業スタイルを模索していくことが重要と考えます。

実施内容と自己評価

評価委員による評価

**8. 経営発達支援計画事業の円滑な実施に向けた支援力向上の取組**

●計画概要

- ①他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換を行う。
- ②経営指導員及び経営支援員の資質向上を図るため、下記のとおり勉強会・研究会等を実施し、経営分析能力、事業計画作成、コミュニケーションのスキルアップを随時図る。
- ③毎年度、本事業計画の実施状況並びに成果について、事業の評価及び見直しを行う。

●実施内容

- ①日本政策金融公庫郡山支店とのマル経協議会において情報交換を行い、万全の金融支援を行った。
- ②職員個々の業務や職制にあわせ、福島県商工会連合会主催の研修会参加や経営支援マネージャー研修に参加するなど、自己研鑽を行った。
- ③専門家派遣事業及び専門家を講師としたセミナーでは、職員もプロの支援ノウハウ習得のため積極的に関わり、その後のフォローアップに役立てる知識、手法を学んでいる。
- ④外部有識者や各商工会から選任された会員事業者により事業評価検討委員会を開催し、事業の進捗状況についての報告と評価見直しの検討を図り、次年度の事業内容に反映させる。
- ⑤1年間の事業報告、事業成果については管内各商工会総会資料に記載し、全会員に配布して総会で報告する。事業実施案内及び事業成果は、岩瀬商工会ホームページ上でも公表する。

●自己評価

- ▼専門家による個別相談の際に、職員が同席することで専門家のノウハウを学ぶことができ資質向上に繋がった。
- ▼経営支援会議の開催によって、新型コロナウイルス感染症の支援策や各地区の状況等について情報交換を行うことができた。

8. 経営発達支援計画事業の円滑な実施に向けた支援力向上の取組

	A	B	C	D
評価	9	1		

(評価委員コメント)

- ▼本取組は、他の支援機関との連携、経営指導員、経営支援員のスキル向上を目的として、実践的な支援を通して様々な知識、手法の習得を行ったものと思われます。
- ▼専門家によるセミナーや個別相談会においては、継続して支援を行う経営指導員、経営支援員にとり、PDCAサイクルを推進するための指針となったと考えます。
- ▼より多くの会員への周知を進め、商工会の取組成果を事業者及び地域に還元し、地域経済を支える存在を高めることを期待します。

まとめ	評価委員委員長総括
<ul style="list-style-type: none"><li>・第1期計画最終年は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けて計画通りに事業を行うのが難しい1年だった。そうした中でも、経営革新計画承認9件という非常に大きな実績をあげることができた。持続化補助金申請支援も昨年以上の実績となった。引き続き、厳しい経営環境にある管内商工会業者の支援を行っていく必要がある。</li><li>・専門家を活用し一緒に支援を行うことで商工会職員の支援ノウハウの向上に繋がり、持続化補助金等の申請支援でもその成果がでている。</li><li>・第1期計画の5年間において、支援のスキームができ効果的な支援ができるようになった。第2期においても引き続き経営計画策定支援を中心に個社支援に力を入れていきたい。経営発達支援事業の広域連携での実施についても有効に機能している。</li></ul>	<p>▼本年度で第1期経営発達支援計画事業は完了となります。ここまで、様々な事業を通し、地域の小規模事業者の持続・発展に寄与してきたものと考えます。</p> <p>また、支援の運営、実行を行うことで経営指導員、経営支援員のスキルアップも行われてきたと思われます。更には、地域振興を行政機関と連携して行うことで、地域課題の包括的な把握や共有の役割も果たしてきました。</p> <p>▼その一方、東日本大震災、それに伴う原発事故からの復興途中ともいえるこの5年間の中で、現在の新型コロナウイルス感染症の他、台風による水害といった災害に多く見舞われ、厳しい環境下への対応も求められました。</p> <p>▼様々な社会環境変革の中で、経営発達支援計画における事業遂行は今後の事業者支援、地域振興において大きな糧となったのではないのでしょうか。第2期の経営発達支援計画事業においては、第1期の経験を活かし、より魅力的な商工会として成長を続けることを期待します。</p>

## 経営発達支援計画評価検討委員

### ○委員長

鈴木 龍京（税理士・中小企業診断士）

### ○委員

渡辺 栄治（岩瀬商工会副会長）

半澤 悟（長沼商工会理事）

廣田 幸吉（大東商工会理事）

星 善一（天栄村商工会副会長）

小貫 豊彦（鏡石町商工会監事）

須田 勝浩（須賀川市経済環境部商工課長）

橋本 喜宏（鏡石町産業課長）

星 展弘（天栄村商工観光係長）

目黒 孝幸（福島県商工会連合会 中通り広域指導センター主任主査）

## 評価検討委員会開催状況

### <第1回>

日時：令和2年8月20日（木）

場所：岩瀬商工会2階研修室

内容：令和2年度経営発達支援計画事業の実施状況について  
第2期経営発達支援計画の策定について

### <第2回>

日時：令和3年2月17日（水）

場所：岩瀬商工会2階研修室

内容：令和2年度経営発達支援計画事業の実施報告と事業評価について